

Hongwanji Buddhist Mission of Australia

シドニー本願寺報

732 Pacific Highway Gordon
PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Email : hbma@optusnet.com.au
http://www.hongwanji.com.au

降誕会&年次総会を開催

5月20日(日)

5月20日に、オーストラリア開教事務所にて、浄土真宗の御開山・親鸞聖人の誕生を祝う降誕会が勤められ、それに引き続き今年度の年次総会も執り行われました。

この日はお参り下さった皆様と共に、親鸞聖人がこの世にお生まれになられたことを法要を通じて喜ばせて頂いたことでした。



親鸞聖人

ディビッドソン・ビクター理事長をはじめ、三井ブラウン綾子さん、奥山裕子さん、ラドナー・マックスさん、ヴェロール順子さんとお友達の石川央子さん、昨年結婚されたばかり



降誕会に集った皆さんと (20/05/18)

のレオ君、アキさんご夫妻、奥様を亡くされてからご縁のできたフongグノーマンさんらのいつもの面々もお参り下さり、賑やかな法会となりました。



尊前でお焼香をする由信くん。

この日のお勤めでは「降誕会の歌」を斉唱した後、『正信偈』を「十二礼」の節でお勤めをし、お焼香の後、日英両語の法話を私の方からお話しさせて頂きました。(次ページを参照下さい)

そして最後は皆で『恩徳讃』を唱和して無事法要を終えることができました。

法要に引き続き、今年の「年次総会」を法要参加者とともに開催し、開教使からの報告(翌月掲載予定)、平成29年度決算、平成30年度予算並びに行事計画、等

が全て全会一致で承認されました。本山からも、これまで同様の支援を引き続き受けることが継続されており、また、過去4年に渡り、海外のサポーターの一人からの多額な寄付を納めて頂



お荘厳されたご本尊

(2ページへつづく)

今年度のお盆法要は8月第2日曜日の12日を予定しております。カレンダーにしっかりマークし参拝を予定して下さいますよう宜しくお願い申し上げます。合掌

もくじ

降誕会&年次総会	1-2
お寺の予定表	1
宗祖降誕会法話	2
今月のことば	3
パブで講演	3
リズムモアの式典	4
祥月案内	4
ご懇念録	4

★ お寺の予定表 - Calendar ★

- May 30 (Wed) 5:00 pm カトリック大司教主催イフター晚餐会/Ifter Dinner
@ St Mary's Cathedral House invited by The Most Rev Anthony Fisher OP
- Jun 3 (Sun) 11:00 am 六月祥月法要/June Shotsuki Memorial Service
- 10 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service
- 17 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service
- 20 (Mon) [本願寺報発行 / New Bulletin Issue]
- 24 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service
- July 1 (Sun) 11:00 am 七月祥月法要/July Shotsuki Memorial Service
- 8 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service
- 14 (Sat) 11am-3pm JCS Fete 日本クラブ・フェイト@Auburn Picnic Area





六字名号

『…お念仏の教えは、僧侶達、つまり聖(ひじり)であっても、武家、商人、そして農民、漁民ら俗人であっても、男性も女性も、悪人も善人も差別することなく、ありのままに生きる人間を、阿弥陀如来はそのまま、平等に救い取って下さる…』

(本文より)



お焼香するノーマンさん
(上)、頌くん(下)
(20/05/18)



いたことや、皆様からの毎年の会費や特別寄付は開教事務所の貴重な財源となっております。本当に有り難うございました。今後もこれまで同様にオーストラリアの地にて布教を継続していく所存ですので、今後ともご支援の程宜しくお願い致します。



入口の案内板

また、理事は全員再選され、今後一年再びお世話になる事となります。理事以外のメンバーの皆様も、是非一致協力し開教事務所を盛り上げて頂ければ幸甚です。



年次総会の席でレポートを見る皆さん(20/05/18)

最後に、お参りして頂いたデビッドソン・ピクターさん、奥山裕子さん、三井ブラウン綾子さん、ラドナー・マックスさん、ヴェロール順子さんとご友人の石川央子さん、

フング・ノーマンさん、そして家内の由紀美へ、美味しいお昼やデザートを用意してくれましたことにお礼申し上げます。本当に有難うございました。そしてこの日



美味しいお齋に舌鼓を打たせて頂きました(20/05/18)



集まってくれた子供たちー我が家の由信、頌を含め、今年度の降誕会にお集まり頂いた全ての皆様、本当にお集まり頂きありがとうございました。

皆様のお蔭をもちまして無事に今年の宗祖降誕会をお祝いすることができ、総会も無事終えることができました。今後とも皆様のご協力をどうか宜しくお願い申し上げます。

合掌

開教事務所長 渡部重信



下記は、5月20日の降誕会法要の際の法話です。

『2018宗祖降誕会法話』

開教使 渡部重信



浄土真宗のご開山、親鸞聖人は、その生きられた時代に於いて、当時の常識をくつがえし、仏教僧として、初めて公に結婚して家族を持たれた方でした。

八百年以上昔の人たちにとって、僧侶とは出家して俗世間から切り離された所で、覚りを開くために日々精進する聖なる存在であり、肉食妻帯などもってのほかという常識がありました。ただ、隠れて掟を破る僧侶もいたそうですが、表だって結婚するような僧侶は誰一人としていませんでした。

そんな時代に於いて、親鸞聖人は法然上人と運命の出遇いをされ、師の導きに従い、阿弥陀如来の救い、お念仏申すことの真の意味を知らされたのでした。



法然上人
(1133-1212)

お念仏の教えは、僧侶達、つまり聖(ひじり)であっても、武家、商人、そして農民、漁民ら俗人であっても、男性も女性も、悪人も善人も差別することなく、ありのままに生きる人間を、阿弥陀如来はそのまま、平等に救い取って下さる事を学び、この教えこそが、煩惱も多く、日々忙しく生きる私たちにとって最も適した真実の教えである、と、確信を持たれたのでした。

法然上人は、無理に禁欲を強いらず、肉も食べ、結婚も許される、これは自然の人間のあり方であり、この普通の暮らしのままでも平等に「往生」出来るものであることを親鸞聖人に説かれたのでした。そして親鸞聖人に対して、妻帯することにより更にお念仏を称えることができるのであれば、婚姻もすることを認めようと仰って下さり、ついに聖人はご結婚を決意されたのでした。

親鸞聖人は、お念仏の教えを真に理解した証として、それを体現すべく妻帯され、僧侶をやめることなく自分の体を張って、教えを实践されたのでした。この親鸞聖人のお心を感じる時、私たちはこのみ教えに今、出遇えているその有り難さをかみしめずにはおれないことです。

今日皆様と共に、降誕会をお勤めし、親鸞聖人の誕生をお祝いできましたことを嬉しく思うことです。今日はようこそお参り下さいました。

合掌





「精神世界をパブで語る」講演会

5月2日(水)於：パディントンRSL



去る5月2日にシドニー中心部から少しボンダイ寄りのパディントンという街にあるRSLクラブ(地区ごとの退役者軍人会のパブなどが入っている娯楽施設)にてご縁を頂きまして、80人ほどの参加者の前で、もう一方のゲストの方と一緒に仏教、瞑想についてのお話しをさせて頂きました。



「Spirituality In The Pub(SIP) 精神世界をパブで語る」という集いを毎月開催されている団体のマーガレットさん(上写真中央)が私に電話をしてきたのが昨年末でした。電話口で「是非、来年の5月にパディントンのRSLクラブに来て、話して欲しい」と熱心に自分たちの活動、今年のテーマ、5月のトピック等につき話してくれ、彼女の熱意に応える形で今回の話を受けさせて頂いた次第です。

今年のテーマは「Wisdom Seeker(知恵の求道者)」であり、五月のテーマは、「Seeking Contemplation and Meditation(熟者と瞑想の探求)」でした。

ただ、浄土真宗の教え自体もご縁がなかった参加者の皆さんでしたので、話す内容は、浄土真宗の教え、親鸞聖人の紹介に終始した感もなきにしもあらずでしたが、最後に、読経によるメディテーションということで、「至心礼(ししんらい)」をあげさせて頂きました。大変読経を気に入ってもらえたのか、持参した自分のお経CDの残り4枚が直ぐに売り切れてしまったほどでした！

半年前からこの企画を入念にアレンジして下さったコフィー・マーガレットさんに深くお礼申し上げます。有り難うございました。

合 掌



80人程の皆さんがお話しを聞きに来て下さいました(02/05/18)

今月のことば

かの如来の

によらい

ほんがんりき

かん

本願力を親ずるに

ぼんぐもうお

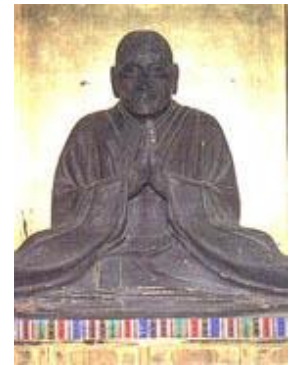
凡愚過うて

むな

す

空しく過ぐるものなし

親鸞聖人(一一七三〜一二六三年)



Once realising the power of the
Tathagata's Primal Vow,
nobody can pass it
by untouched.

by Shinran Shonin (1173 - 1263)



真宗教団連合刊
「2018(平成30)年法語カレンダー」より



アンザックデー前夜(24日)と当日(25日)！ リズモアでの平和式典に今年も参列



(上)RaH創立者のサビーナ
そしてマーガレット(中央)と

(左)24日の式典会場となったアングリカン教会内で読経する渡部開教使

去る4月24日、NSW州北部のリズモア市にて今年も開催された平和市民団体RaH《Remembering and Healing》が主催するアンザックデー記念平和式典「Multi-faith and Multicultural Service for the Eve of Anzac Day & for Anzac Day」が今年も行われ出席して参りました。

24日の式典では、市内のアングリカン教会にて200人以上が集い、午後5時より行われました。式典では、アボリジニー代表者の歓迎、教会牧師からの言葉、私からの平和を念願する読経、市民合唱団のコーラス、その他、イスラム教、無宗教者の代表が祈りの言葉を述べました。基調講演は、「正直な歴史」副会長のプロイノースキ・アリソン博士が真実の歴史を見る目について話しました。

そして今年も最後に出席者が全員参加する宗教別、国別の献灯が行われました。



(上)献灯する嬢君とりんちゃん。
(下)もう一人の創設者のラリサ(左)と彼女の家族と(24/04/18)



(上)プロイノースキ博士
(下)グレゴリー司教と渡部
開教使(25/04/18)



平和の木に献水する嬢君

翌日25日の式典は、アンザックデー公式式典が終わった直後の午前11時から市内のカトリックのトリニティ・カレッジホールにて行われました。前夜のプログラムと同様に、厳粛ながらも陽気な合唱団による歌、そして様々な楽器演奏等を織り交ぜながら式典は進められました。

この日の基調講演は、昨夜のプロイノースキ博士と、リズモアに最近赴任されたカトリック司教のグレゴリー神父でした。地域の方から慕われている人柄の現れた大変心を打つお話を頂きました。

最後には、用意された大きな世界地図の上の自分の出身地に印をつけ、そして「平和の木」に献水し、滞りなく式は終了しました。

合掌



ご 懇 念 録

Expression of Dana/Gratitude



この一ヶ月間で、下記の方々より総計 1,772ドルのご懇志をご進納頂きました。有り難うございました。また、お賽銭箱には、計12ドルが浄財として参拝者より喜捨して頂いておりました。この浄財は本願寺設立基金へ進納されました。有り難うございました。合掌

In the past month, donations to the amount of \$1,772.00 were offered to the Amida Buddha through the Hongwanji Buddhist Mission of Australia. HBMA members and attendants have also deposited \$12.00 in the donation box which also deposited to the Hongwanji Temple of Sydney Building fund. The HBMA acknowledges the donors and would like to express our sincere gratitude to the following for their generous donations:

- * Mr Simon Konecny - Wife (Mrs Tomoko Konecny)'s funeral service
- * Ms Mihoko Nishiura - 49th day Memorial service for husband (Mr Terry Nishiura)
- * Mr Kazushi Ishida - Memorial service for Mr Tokuji Natsume
- * Mr & Mrs Shigeki and Mitsuyo Iikura - Membership (1 Year)
- * Ms Ayako Mitsui-Browne - donations
- * Ms Hitomi Howard - Shotsuki Donation
- * Buddhist Council of NSW - Chaplain fund
- * Japan Club of Sydney - Honorarium for printing





BULLETIN



Rev Watanabe attended Remembering and Healing All inclusive, Multi-faith and Multicultural Service for the Eve & Anzac Day in Lismore

24th and 25th April 2018



Lismore's St Andrew's Anglican Church where Anzac Eve ceremony took place. (24/04/18).

Rev Watanabe was once again invited to attend and participate in "Remembering and Healing" - the Multi-faith and Multi-cultural service for Anzac Day Eve on 24 April, and also for Anzac Day on 25 April in Lismore, NSW.

This peace event is always organised by "Remembering and

Healing (RaH) Inc. and our friend Ms Sabina Baltruweit is chairing.

In the evening at the Lismore St Andrew's Anglican Church on Anzac Eve, first of all, Auntie Rev Dorothy Harris-Gordon extended her wel-



Rev Watanabe extending his peace message after his Chanting for Peace. (24/04/18).



L to R: Rin, Yukimi and Sho attended Anzac Eve gathering at the Anglican Church. (24/04/18).

come to Country message. Which was followed by choir songs, messages and prayers for peace from various faith representatives from Anglican, Atheist, Muslim and Buddhist. Of course, Rev Watanabe represented the Buddhist faith and shared a peace message and chanting. And Dr Alison Broinowski, Vice President of Honest History, shared her deep thought how important to have a true point of view for our history.

At the end of the ceremony we all offered lighted candle at the shrine in the order of faith groups as well as nationalities. There were about two hundred people present on that evening.



L to R: Sabina, Rev Watanabe, Dr Alison, Mr & Mrs Barnes at the Anglican Church Hall. (24/04/18).

On the following day, Anzac Day, the ceremony took place at Lismore Trinity College Hall. This Anzac Day ceremony started right after the official Anzac Day ceremony in Town which was 11 am sharp.

The program was very similar to the day before but more relaxed situation with community choir's music session which we sang all together and people had really enjoyable time.

But many attendants came to listen to a message from their new Catholic Bishop Gregory Homeing. He loves people call to him just "Bishop Gregory" and he seems like a very friendly Bishop, and very much loved by the people.



After the ceremony we all took turns to deco-



rate a rainbow wall with a white peace ribbon. Then watered the "Tree for Peace". Finally all stood up and sang for Universal Peace. In gassho,



(L-R) Bishop Gregory and Rev W, Rev Watanabe sharing his message, Rev Watanabe place water on to Peace Tree. (25/05/18).

What is "RaH"?

North Coast Peace Group Remembering and Healing Inc.

Rah stands for a peace-orientated, compassionate, all-inclusive, just and humane society, for upholding human rights for all without exception. RaH works to inspire the wider population to take a stand for these values.

RaH promotes non-violent conflict - resolution at all levels - interpersonal, in the community and internationally.

RaH works to promote understanding and mutual respect between all groups in our wider community, with a strong emphasis on the inclusion of

marginalized and ostracized groups,

RaH strives to prevent any glorification of war at commemorations by

offering models of all-inclusive, peace-

orientated ceremonies.



Jiriki (Self power) Buddhist denominations say that monks/priest do not eat meat, do not get married, because these things may become obstacles to their practices. However, our Pure Land denomination respects people's everyday lives. And our practice was made by Amida Buddha, and we just accept Buddha's true mind. I, Honen, am just comfortable with my present situation right now, as I can recite Nembutsu comfortably, so I do not eat meat and not get married. However, you do not need to be like me, you have a choice, you have to be honest to your heart and mind." Then, Honen Shonin told Shinran Shonin; "If you will be able to recite Nembutsu more often when you have your wife, you may get married. The basis of our life is always Nembutsu. Nothing comes before Nembutsu. We have to be true to Namu Amida Butsu. So, Shinran Shonin was saved by Honen Shonin's words, and decided to get married.

Human beings made laws, rules or regulations - whatever we may choose to call such things. And the Buddhist Sangha also made their rules which were not really related to Buddha's teachings. That's why Buddhist followers were separated into many denominations. We sometimes need strong determination to change our old customs. We do not need to stay the same. If we do believe another way is better, then all we need is to make the change. Sometimes, it is very difficult but if we think change is necessary, let us do it, otherwise we will regret it for the rest of our lives.

The teaching of Nembutsu is here with us because people chose to live with it, because it was the most suitable teaching for us. We know Amida Buddha does not discriminate people, and saves us equally to the Pure Land. To believe in and appreciate Amida Buddha's salvation reciting Nembutsu is the most important part of our lives. We never forget to appreciate Honen Shonin and Shinran Shonin for showing us and leading us in the right direction.

On this occasion of Gotan-e service, let us once again recite Namu Amida Butsu appreciating Shinran Shonin's effort and his great decision.

Namu Amida Butsu
Rev Shigenobu Watanabe



*Rev Watanabe participated in
Spirituality In The Pub (SIP)*

and talked about

"Seeking Contemplation and Meditation"

on 2 May 2018 at The Paddington RSL



On Wednesday 2 May evening, I was invited to talk about my faith in a Pub! Ms Margaret M Coffey, representatives of a group of people who organise the



L-R: Ms Judi Taylor, Ms Margaret M Coffey and Rev Watanabe on the stage of upstairs meeting room of the Paddington RSL Club.



"Spirituality in the Pub" contacted me at the end of last year, asking me to deliver a talk as they have a monthly gathering at the Paddington RSL club.

About 80 people gathered for this evening session of myself and Ms Judi Taylor, Co-ordinator of "Women's Night of Spirituality".

Ms Taylor runs the Australian Christian Meditation Community where they welcome local Sufis, Tibetan Buddhism and Jewish groups, and she introduced how important it is to quietly meditate when we are too busy to concentrate.

Buddha also said "Meditation brings wisdom... know well what leads you forward and what holds you back, and choose the path that leads to wisdom".

However, as a Jodo Shinshu minister, I explained, "As we are Pure Land Buddhists, we wholeheartedly trust and put our faith on Amida Buddha, Buddha of infinite light and life, Buddha of wisdom and compassion, so all we need to do is praise Buddha's virtue by chanting sutras or reciting Buddha's name. And I chanted "Shishinrai" at the end of my talk and many attendants appreciated it. I brought my last 4 chanting CDs and they are all sold out!

Thank you Margaret for giving me such a wonderful experience! I was so glad to share my experience and the teaching of Jodo Shinshu to general public!

In Gassho,



Many people showed their interest about meditation and also to Buddhist teachings. (02/05/18)

The members of the Board remains as before. Please give your full support to the re-elected Board Members.

After the AGM, we enjoyed a delicious lunch. Thank you, Mrs Hiroko Okuyama, Ms Ayako Mitsui-Browne, Mr Maximilian Nilsson-Ladner, Ms Junko Verroll and Hiroko Ishikawa, Mr Norman Fung, Ms Aki Chan and Leo Wang, and Yukimi for the beautiful dishes. Thank you for all children - Yushin & Sho - for your presence at this important service. All of your devotion and concern towards our mission is very much appreciated, and together let us carry our HBMA forward.

In Gassho,
Rev Shigenobu Watanabe



Ms Okuyama (top), Ms Nilsson-Ladner (below) offering incense.



Ms Verroll offering incense (20/5/18)

Rev Watanabe's Dharma talk for the Gotan-e 2018

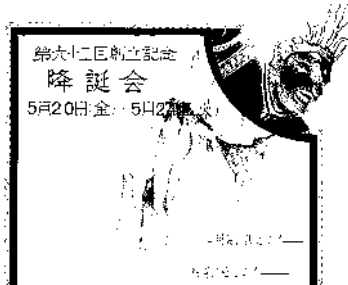
GOTAN-E 2018

"Fuji =Wisteria" is a symbol of our Jodo Shinshu Hongwanji-ha. We can find many wisteria crests (Sagari-fuji) in our Hondo, such as on the Wagesa / Monto Shikisho, Seiten (Service Books), etc. Shinran Shonin was born on 21st May when we can see beautiful wisterias around that time of the year in Japan. Today, we are celebrating our founder's birthday as we observe Gotan-e service.

The word, "Gotan-e" reminds me when I was a University student at Ryukoku from 1981 - 1984. Ryukoku University has two festivals. One of these was the school festival called Ryukoku-festival, and the other was Gotan-e. For the Gotan-e, when we celebrated Shinran Shonin's birthday for five days! I was a Law faculty student at that time, and belonged to the fine arts club, called "Bijutsu-bu Artist-Kai". In 1993, the Gotan-e committee came to see me and asked me to draw the Gotan-e poster.

A big surprise!

I was chosen to do this honorable art-work from among 8,000 students! I somehow accepted to do take up offer as I saw it is a sort of once in a lifetime experience. I was so nervous and I spent many hours to finish the poster (right). I was not really recognizing Gotan



1983 Gotan-e Poster



BULLETIN

-e and did not draw neither Shinran Shonin nor Amida Buddha. But I did my best to finish it.

The following year which was my final year at the University, the Gotan-e committee once again asked me to draw a Poster.

This time I drew a very simple image. A cartoon-like monk (Shinran Shonin) sitting with his hands in Gassho, surrounded by stylised female figures (right).



1984 Gotan-e Poster

At the time of Shinran Shonin, the Buddhist monks could not talk about women, and kept away from them. All they needed to do was try to understand what Shakyamuni Buddha said by chanting, studying, and daily temple duties, etc. However, Shonin was distracted by women, so this became a little clue to my second year's poster. It was a big progress for me since the previous year, as I knew more about Shinran Shonin. I will never forget the impression that I had discovered that Shinran Shonin was the first Buddhist monk to officially get married, which was really unusual scandalous people at that time. These days, many Buddhist monks are allowed to get married in Japan. However, some traditions are still opposing it. Over 800 years ago in Japan, the latter idea was very normal. I mean, people's common sense were different compared to nowadays.

Another thing I would like to mention is "Sangha". When I was in Canada, majority of Buddhist followers in North America understood Sangha to mean the general Buddhist community, while it originally meant just Buddhist monks, who abandoned family life to engage in many religious practices as their daily routine - not living for money, just begging for their daily meals.



Honen Shonin
1133-1212

So, since Pure Land Buddhism was introduced by Honen Shonin in Japan, he caused an historical change. That was because, when Shinran Shonin consulted his master Honen, he allowed Shinran Shonin to get married. Shinran was very surprised but very happy. Honen Shonin said to Shinran: "I do not insist that my disciples must be vegetarian, and celibate.

(Continues on page 3)



BULLETIN

2018 GOTAN-E Service and AGM were held on 20 May 2018



Group photo was taken after the Gotan-e service. (20/05/18)



On 20 May, HBMA members, supporters and Dharma friends gathered for the Gotan-e service and the Annual General Meeting. We all expressed our highest respect and gratitude to Shinran Shonin, the founder of Jodo Shinshu, by celebrating his birth into this world. And the service was followed by the 2018 Annual General Meeting .

We welcomed a strong supporter, Mr Norman Fung, as well as our regular members, Mr Victor Davidson, Ms Hiroko Okuyama, Ms Ayako Mitsui-Browne, Ms Junko Verroll, for this commemorative day. We also welcomed few Dharma friends, a honey-moon couple, Ms Aki Chan and Leo Wang, plus Junko brought her friend Ms Hiroko Ishikawa.



Shinran Shonin
1173-1263



Everyone enjoyed singing the Gotan-e Gatha! (20/05/18)

Inside This Issue

- Gotan-e celebration and HBMA Annual General Meeting 1-2
- Gotan-e message by Rev Shigenobu Watanabe 2-3
- Rev Watanabe spoke for "Spirituality In The Pub" 3
- HBMA News- Lismore Anzac Day Peace Ceremony 4



HBMA shrine was beautifully decorated for Gotan-e. (20/05/18)

During the ceremony, we chanted Shoshin-ga with Junirai tune, and sang "Shuso Gotan-e (Founder's birthday)" together. Then, I delivered both English and Japanese Dharma messages based on my memories during my University activities for Gotan-e festival.

You may find my message after this article.

After a group photo, the AGM was convened. I was again elected as Chairperson. All activities of HBMA during the year, and financial reports were presented. New budget for the current calendar year was approved. Everyone also agreed that the need and hopes for the continued existence of HBMA is still very high, and that HBMA should continue functioning here in Sydney. Therefore whatever help you can give to our mission will be greatly appreciated. Please also share your thoughts about our mission with us.



Entrance way of HBMA (20/05/18)

During the month of September, I am again planning to do a fundraiser "Peace Run/ Marathon" when the Sydney marathon take place. Therefore, if you wish to donate towards this, it will be much appreciated. Your support will be greatly appreciated! In any case, if you wish to run with me, you would be most welcome!

(Continues on page 2)